

「論語」を読んで「友だち」について考える

開倫塾

塾長 林 明夫

<はじめに>

- (1)ここ数日、雪が降ったり、強い風が吹いたりし、寒い日が続いています。昨日、1月29日(金)の東京都内の新規感染者数は868名と1000名は割りましたが、まだまだ厳しい状況です。「マスク」「手洗い」「密を避ける」「換気」など万全の感染対策をした上で、「腸内フローラ」を大切にするために、ヨーグルトやヤクルトなど腸によいものを摂取すると同時に、ストレス対策を十分にし、「免疫力」を高めましょう。
- (2)今日の「開倫塾の時間」では、約2500年前に中国で活躍した「孔子(こうし)」の教えを弟子たちが499の章にまとめた中国の古典「論語」の中で、「友だち」「友情」について書かれている3つの章を皆さんとご一緒に読み、友だちとは何か、友情とは何か、友だちとつき合うときの心構えを考えたいと思います。
- (3)「論語」は、中国の古典の中で日本で最も読み継がれ親しまれている古典の1つです。



学而第一

1. 1つ目の章は次の通りです。

- (1)子曰わく、し い まな とき こ なら ま よろこ 学びて時に之れを習う、亦た説ばしからずや。
- (2)とも あ えんぼう きた ま たの 朋有り遠方より来る、亦た楽しからずや。
- (3)ひとし いきどお ま くんし 人知らずして 慍らず、亦た君子ならずや。



通釈は次の通りです。

- (1)孔子が言った。学問をして、その学んだところを、復習できる機会を逃さずに、何回も何回も、くり返して復習すると、学んだところのものは、自分の真の知識として完全に消化され、体得される。これはまた、なんと喜ばしいことではないか。
- (2)このようにして、知識が豊かになれば、道と同じくする友達が、遠い所からでもやって来て、学問について話し合うようになる。これはまた、なんと楽しいことではないか。
- (3)しかし、いくら勉強しても、この自分を認めてくれない人が世間にはいるもの。そうした人がいたとしても、怨まない。それでこそ、学徳ともにすぐれた君子ではないか。

季子第十六

2. 2つ目の章は次の通りです。

- (1) 孔子曰わく、益者三友、損者三友。
(2) 直きを友とし、諒を友とし、多聞を友とするは、益なり。
(3) 便辟を友とし、善柔を友とし、便佞を友とするは損なり。



通釈は次の通りです。

- (1) 孔子が言った。良い友達と、悪い友達とがある。
(2) 良い友達としては、①直き(正直)人、②諒(誠実)の人、③多聞(見聞ひろく、見識豊か)な人。
(3) 一方、悪い友達には、①便辟(ものなれた態度で、巧みにこびへつらう)の人、②善柔(人ざわりがやわらかだが、誠実さのない)の人、③便佞(口ばかり達者で、誠実さがない)の人。

3. 3つ目の章は次の通りです。

- (1) 曾子曰わく、吾、日に三たび吾が身を省みる。
(2) 人の為に謀りて忠ならざるか。
(3) 朋友と交わりて信ならざるか。
(4) 習わざるを伝うるか。



通釈は次の通りです。

- (1) 孔子の門人の曾子が言った。私は一日の中で何回も何回も、主として次の点について反省する。
(2) 一つは、他人のために相談に乗った時、ほんとうに誠意をもって考えてやったか、ということ。
(3) 二つは、友達との交際において、信義を尽くさないことはなかっただろうか。
(4) そして、三つには、まだ自分の知識として完全に消化されていない事がらを、他人に教え伝えはしなかつただろうか、と。

4. 友だちとは何か、友情を育むにはどうしたらよいか・どのようなことをすべきではないかを、この「論語」の3つの章を読み、考えるのも面白いと思います。尚、本日の放送には、私が足利高校在籍中の高1～高3までの3年間漢文を教えていただいた須永美知夫先生著「論語抄」史跡足利学校1993年刊を引用させていただきました。

2021年1月29日(金) 9:00～9:10CRT 宇都宮放送局で収録

